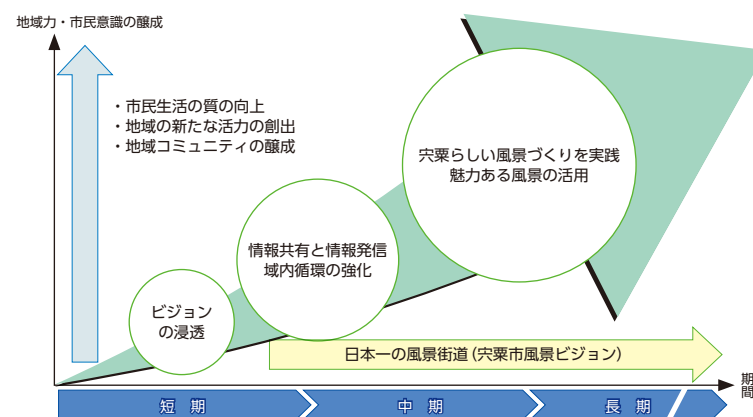


どうやって進めていくの？

長い年月をかけた取り組み、まずは…

- ・ビジョンが関係主体に浸透し、各主体が意識して取り組む仕組みを整えていきます。
- ・関係主体はその役割を意識して、できることから風景づくりに取り組みます。
- ・行政は各種計画において、地域住民の風景づくりのニーズをとらえて柔軟に運用したり、今の施策を見直したりする中で、風景づくりを進める仕組みをつくっていきます。



「日本一の風景街道」創造への道のイメージ

具体的にはなにをするの？

①風景ビジョンの浸透

市全体にビジョンの考え方や風景づくりの方向性を浸透させ、関係主体が風景づくりに取り組む働きかけを行います。

③体系的に分類した風景づくりの推進

歴史や文化、人々の暮らしや産業などを背景に形づくられた多様な風景をその分類ごとに示す方向性に沿って風景づくりを進めます（3ページ参考）。

④情報共有と情報発信

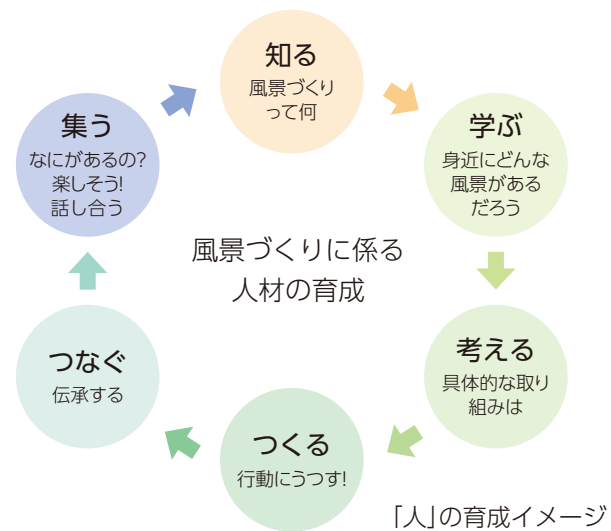
風景に関する情報共有と地域の人々が地域の風景を知る機会を創ります。また、地域内外に風景の魅力を発信していきます。

【具体的な取組】

- ・残したい風景、伝えたい風景を募集
- ・地域のことを調べたり考えたりする取組
- ・SNSなどを活用した情報発信

②人を育てる

持続性のある風景づくりには「人」の育成が重要です。宍粟の魅力ある個性豊かな風景づくりに貢献できる人材を育成します。



ビジョンにかける 市長のおもい



宍粟の豊かな自然環境と、先人から受け継ぎ、地域の人々が守り続けた歴史や文化を私たちは未来へ繋いでいかなくてはなりません。未来の風景は私たちの日々の活動でつくられていきます。行政はもちろん、市民、地域団体、事業者が日常の中で少しずつ風景を意識することができれば、「ここに住みたい」「何度でも訪れたい」という魅力をもった地域を育むことができます。この風景ビジョンをもとに、今ある風景の価値や私たちがこのまちで生きてきた意味を考え、「日本一の風景街道」をスローガンに協働と連携の風景づくりで、だれもが地元を誇りに思い、充実した毎日が送れる持続可能な地域社会をめざします。

問合せ先 宍粟市 市長公室 地域創生課 Tel 63-3066



日本一の風景街道の創造

—概要版—

「宍粟市風景ビジョン」

（令和4年10月策定 宍粟市）

豊かな自然と受け継がれてきた歴史、そして人の営みが今の風景をつくっています。市では、これから20年、30年、さらにその先に目を向けて、宍粟市をより魅力的なまちに発展させていくため、風景づくりの方向性を示す「宍粟市風景ビジョン」を策定しました。市民、地域団体、事業者、行政が協働し、宍粟市の風景を未来に引き継ぐとともに新たな価値観や多様な関わりによる魅力ある風景づくりを推進します。また、広大な宍粟市に点在する風景がさまざまな形でつながり、さらなる風景の魅力化とより豊かな市民生活を実現する「日本一の風景街道」をめざします。



このビジョンはどんなもの？

風景を守り育てていくことの大切さを考える

- ・風景づくりの基本的な考え方や方向性を示すもので、「風景の意味や価値、大切さ」などの気づきを与えるものです。
- ・風景づくりがめざすべき未来の姿を私たち皆で共有するものです。
- ・市民、地域団体、事業者と行政が、日々の生活の中に風景の視点を持ち意識することで、それぞれの立場に応じて風景づくりを展開します。

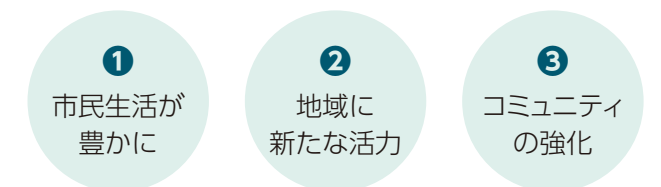


なぜ風景づくりに取り組むの？

地域で守られてきた風景の維持が難しくなる

- ・急激な人口減少と少子化で地域の担い手が不足し、地域活力の低下なども懸念されます。
- ・全国の自治体で人口維持に向けた取り組みが強化される中、他の自治体に対しての独自性や優位性が必要となっています。

風景づくりの意義



- ・経済効果と個人の豊かな生活につながり、地域への誇りや愛着を育みます。
- ・魅力ある風景が今ある風景を守り、新たな風景をつくっていく力を生み出す源泉になります。

風景って目に映る景色だけじゃないの？

風景には、「目の前に広がる眺め」だけではなく、先人から脈々と受け継がれてきた歴史や人の営みが存在します。

風景

目に映るもの

紅葉、渓谷、滝、雪景色 など

風景を引き立てるもの

音、匂い、味覚、触り心地、味覚 など

地域で大切に守り伝えられてきたもの

歴史、風土、生業、文化 など



風景づくりには何が重要な？

私たちが共通認識をもって取り組むことが重要です。次の視点を基本的な考え方として風景づくりを進めます。

守っていききたい

四季を織りなす 豊かな自然

- ①豊かな自然を守り活かす
- ②来訪者の満足感を高める

伝えていききたい

祖先のあしあと 先人の知恵

- ③歴史文化を未来へつなぐ
- ④住み続けたいと思う地域づくり

大切にしたい

敬うところ 支えあいの輪

- ⑤交流と連携の輪を広げる
- ⑥活動の場をつくる

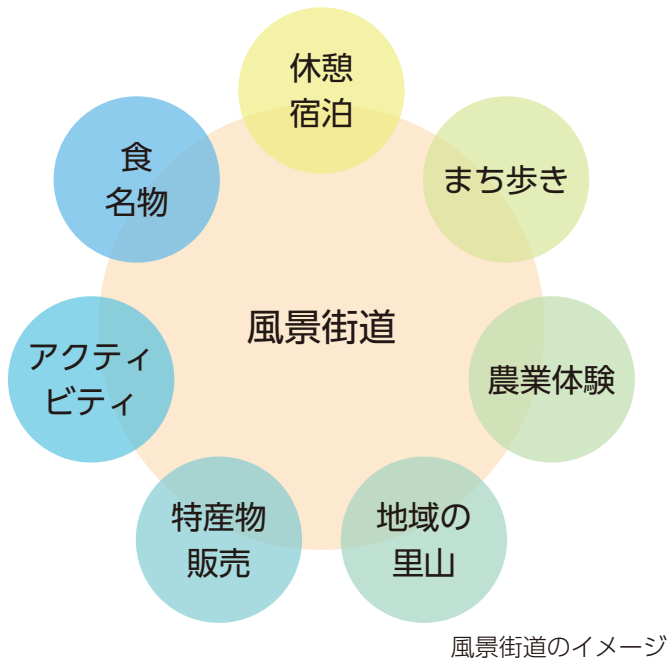
育てていききたい

宍粟を築く かがやく笑顔

- ⑦「人」を育て集める
- ⑧市民が主役になる

「風景街道」ってなんのこと？

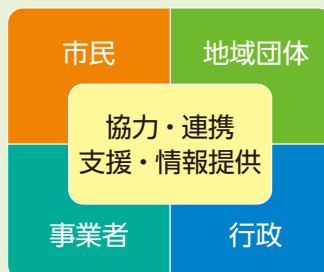
風景街道とは、風景が実際の道でつながることを指すのではなく、「風景」と「風景、人、地域」などの多様な関わりから生まれる“つながり”です。



風景街道のイメージ

風景づくりは誰が取り組むの？

市民、地域団体、事業者、行政が関係主体として、互いに「協力・連携」と「支援・情報提供」しながら、協働で取り組みます。



地域の個性を活かした活動の広がり

地域資源を活かした活動が地域で広がり、今ある風景の維持や新たな風景につながっています。



廃校を活用したゲストハウス (NPO 法人 More 繁盛)

どんな風景をつくっていくの？

人々の暮らしから育まれた風景を体系的に分類し、今ある風景との関係や風景づくりの基本的な考え方を踏まえ、次のとおりこれからの風景づくりに協働で取り組みます。

①都市／まちと暮らし

【今ある風景】

- ・産業集積地
- ・生活圏の拠点
- ・歴史あるまち並み
- ・主要道の賑わい など

【今後の風景づくり】

- ・生活圏の拠点での賑わいづくり
- ・商工業の発展
- ・遊休資産の活用
- ・主要道や沿線でのおもてなし



②農地／里地と暮らし

【今ある風景】

- ・田園や棚田
- ・家族で農業する姿
- ・田畑に生息する生き物 など

【今後の風景づくり】

- ・事業規模拡大と多様な農業生産
- ・特色ある農業
- ・農業体験や収穫体験の充実
- ・農地の多用途での活用



③山林／里山と暮らし

【今ある風景】

- ・豊富な森林と林業
- ・彩りのある里山
- ・レジャー施設 など

【今後の風景づくり】

- ・森林整備
- ・里山づくり
- ・アウトドアコンテンツ (フィールドづくり)



④河川／湖と暮らし

【今ある風景】

- ・揖保川や千種川
- ・憩いや遊びのスポット
- ・音水湖 など

【今後の風景づくり】

- ・川遊びや河川公園の利用
- ・音水湖周辺の賑わいづくり
- ・河川や湧水の活用



⑤歴史／文化と暮らし

【今ある風景】

- ・歴史ある建築物や遺構
- ・製鉄技術
- ・伝統的な祭りや食 など

【今後の風景づくり】

- ・歴史・文化的資源の活用
- ・食文化でのおもてなし



日本一の風景街道をめざして

宍粟市には、どのまちにも引けを取らない魅力ある風景が存在することを忘れてはいけません。私たちが自らの地域を誇りに思い、いきいきと充実した生活を送り続けることが「日本一の風景街道」につながります。



地域創生課 柳川隼人 係長